

入学して2か月、がんばる30代カレッジ生

得することしかないなので、どんな方にも入学をお勧めします！

カレッジ通信

編集・発行

東京建築カレッジ

授業見学
大歓迎!

TEL 03
(5950)
1771



入学したから出会えた新しい仲間!
(5月14日の放課後、江東実習場で)

金井 攻太さん(写真左)内装業で働き始めて事業主から入学を勧められた
狩野 雄紀さん(写真右)異業種から転身、建築のすべてを体感したくて
西澤 秀幸さん(中央)造園などで働いていたが、今度は大工にチャレンジ

1年生(第27期生)は入学して2か月が経過しました。働きながら密度の濃い学びを続けるカレッジ生活はとてもハードですが、仲間との交流も深まり、気持ちのうえで多少余裕も出てきたように感じます。今年の新入生は30代が多いことが特徴、目的意識が高く落ち着いた方々のため、良い雰囲気のカラスづくりに貢献しています。彼らを見てみると「新しいことを学び始めるのに遅すぎるということはない」と実感します。30代8人のうち3人に授業日の放課後にお話を聞きました。

◇カレッジ生活
はいががですか?

金井 大工の棟梁を育てるというカレッジのモットーに大工ではない私はない不安もありません。勉強は簡単ではありませんが理解できるまで何度も優しく教えてくれる先生、みんなが明るく学べる環境に、普段の仕事への取り組みまで意識を変えて日々を過ごせる

ようになりました。気は早いかもしませんが日々の成長を感じられている今、卒業時の自分の想像すると楽しみです。

狩野 伝統的な大工技術を体系的に学べることに非常に魅力を感じています。

西澤 年齢も様々ですが、志はみんな一緒なので自分が心折れそうな時もあるのに力に助けられるのがカレッジでの良いことだと思えます。構造にかかわる授業は自分の人生で深く考えたこともなかったもので、すべてが印象深いです。



「カレッジフレーム」製作の授業で。図面から立体イメージを読み取り、材料に正確に墨付けして、加工へ。建築のエッセンスを身に付けるための大工実技実習です。

◇なぜカレッジに入ったのですか

金井 私は現在内装会社勤めており業務では主に壁紙を貼っています。カレッジに入学するきっかけは

かけは事業主からの提案でした。異業種からの転職だった為もっと学びたいと思っていた私には嬉しいお話でした。「学べるチャンスがあるならぜひ」と入学させていただきました。

狩野 建築の基礎となる技術を学びたいと思い入学しました。

西澤 私に、建築の基礎を学んでほしいと思っていただいた社長が入学させてくれました。以前、仕事を一緒にした設計の先生がカレッジの講師で、その方からも「社員を入れるといいですよ」と勧められたとのことでした。

既従事者、転職者の入学を歓迎します

「学び始める」に「遅すぎる」はありません。東京建築カレッジは建築既従事者、転職者のチャレンジを応援します。この学校に通うことのできる就職先の紹介もします。お気軽にご相談ください。

学校紹介はこちらから



(第1面から)

◇普段の仕事は

金井 内装業です。主にクロスを貼っています。魅力はやはり作る喜び。住む方使われる方の思い、使いやすさを考え、思いを乗せて作り、喜んでいただけることが何よりも魅力です。

狩野 構造設計をしています。建築物が形として残るのが魅力です。現場のプロセス、作業を意識す



ることを心掛けています。

西澤 主にリフォーム工事です。エンドユーザーの喜ぶ姿にやりがいを感じます。

◇すでに建築で働いている方や異業種から建築への転職を考えている方に入学

お勧めメッセージを



金井 自然災害による大きな被害が危惧されている中、どん

な状況になったとしても人々の住む場所、環境を作りあげる能力があるというのは、素晴らしいことだと思います。心を豊かにする建築業は最高!

狩野 とても貴重な仲間を得ることができると思います!

西澤 色々な知識や経験を積んでいる方の話が聞けます。教科書を見ても一人では理解が難しいこともカレッジに入學すれば丁寧に教えてもらえ自分の身につけていきます。得ることしかないのです、どんな方にもお勧めできます。

金田先生設計の現場で土壁づくり体験



正規授業ではありませんが、先生が手掛ける現場に触れる機会が本校ではよくあります。このほど金田正夫講師が設計した田無の建築現場で土壁づくりワークショップが行われ、複数の在校生が参加しました。

「人生の先輩」がクラスをリード! (2年生)

2年生(第26期生)では長年、この業界で働いてきた2の方がクラスの雰囲気づくりで大きな役割を果たしています。「ここで学びたくて入った」。生活の中でカレッジの優先順位を上げてすべてを学ぼう、という気持ちで年下のクラスメイトに良い刺激を与えています。

時間が経つのが早い

谷前 昌幸さん



二級建築士にチャレンジしたくて建築カレッジに興味を持ちました。消防設備点検の実務経験では受験資格が得られません。カレッジに入るのが手取り早いのではと。入学当初は連日の集中授業など久々の学生生活は新鮮でしたが、ちょっときつかった。でも、あっという間に時間が過ぎていきました。面白かったのは若い子たちと出会い、彼らが何を考えているか、間近でつかめたことです。これからの学校生活の楽しみは卒業制作と住宅設計の模型づくり。卒制では「どうせなら学校に残るもの」の発想で「大工がつくる教壇」をつくります。(消防設備点検)

基礎工16年、住宅の全体を学びたくて

坂本 裕太さん



私も二級建築士をめざす気持ちが入学のきっかけです。基礎工事で16年の経験がありますが、上物(うわもの)がどのように建てられるのか知りたかったですし、たくさんのお話をちゃんと教わって受験準備をしようと思いました。建築士受験だけなら民間の予備校に通う手もありましたが、カレッジに入って正解でした。大工技術

の実技実習をはじめ、授業は多彩で楽しみながら勉強できています。この学校では建築で働く人の横のつながりができるのも魅力。これからの仕事人生に生かしたいと思います。(建築大工)

「参加して大変良かったと思っております、世の中にはこういう工法で家の壁を作ってる人たちがいるんだなあと感じました。けれど自分が竹を組んで麻のヒモで縛った時に思うようにキツく縛れなかつたのが失敗したな...って反省する点はあるんですが、やって楽しいと思えました」(2年生 幸野歳丸さん)

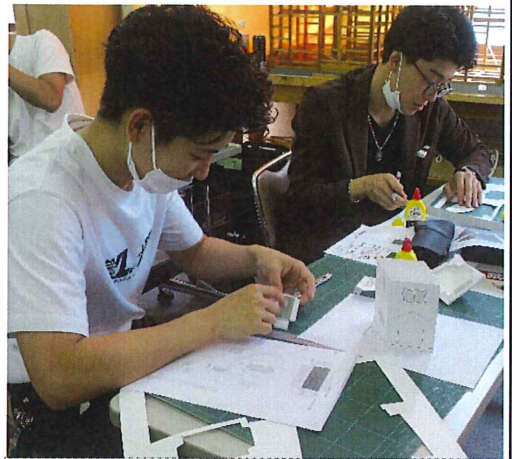
1年生の授業から

学科も実技も多彩に



←「カレッジフレーム」の墨付けを教わる研修生。異業種からの転職して2か月。基礎から丁寧に繰り返し学びます。

東京建築カレッジの教育で重視しているのは、「体を動かすこと」「頭で考えること」を連結した授業の組み立てです。双方が刺激をし合い、基礎の技術と知識が身についていきます。



平面図、断面図、立面図が建ち上がるとどうなるか。実習棟の紙の模型づくりで理解します

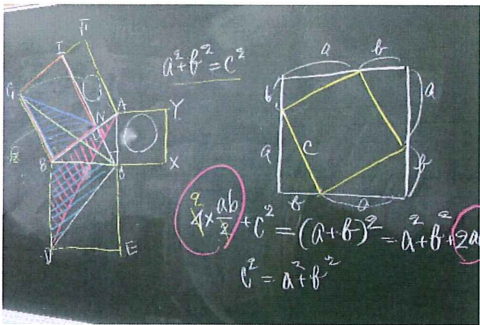
「基礎製図Ⅰ」では、手書きの作図の基本を練習しながら、平行定規の使い方に慣れてきました。紙に書かれた図面と立体物の関係を理解するために、ペーパークラフトの実習棟ミニ模型づくりも楽しみました。

「構造力学演習Ⅰ」は長年、都立工業高校で教えてきたベテランの先生が初歩から手ほどき、仲間たちで教えあいながら練習問題を解いています。建築士受験の勉強

は辛いものですが、一人で勉強するよりも仲間と一緒に勉強するほうがやる気が出るようです。

「建築測量基礎」では、建築の仕事で欠かせない数学を教わりません。元都立高校教諭のカレッジ卒業生によるオリジナル教材は好評で、「中学生のときに出会いたかった」という声が毎年聞かれます。

「木造工作実習Ⅰ」は継手・仕口の複合構造体「カレッジフレーム」を6月末までに完成させます。



建築従事者のためのオリジナルテキストで数学を学びます。「ピタゴラス(三平方)の定理」の証明方法もわかりやすく解説します

本校の実技実習の多くは大工技術ですが、2年次の前期には7つの各専門工事職の施工体験授業を設けています。建築現場を統括する管理者レベルをめざすには大工以外の仕事の理解も欠かせないからです。型枠・鉄筋、左官(モルタル、漆喰、塗り、水道設備、塗装、襖(ふす



学校の母体、東京土建の組合員さんが各専門工事の体験の機会を提供してくれます。写真は、型枠・鉄筋授業(5月26日)

2年生の授業から

型枠・鉄筋、左官、水道設備、襖・クロス、塗装、タイル、板金

各専門工事も体験

住宅自由設計も

与えられた敷地条件でお施主に理想の住宅をどう建てるか。図面を完成させた後に、模型でプランの善し悪しを確かめます。100分の1サイズを最初につくり、必要な場合、修正を加え、最終の設計プランを完成させ、50分の1サイズの模型に仕上げるというものです。完成後は、設計の意図をプレゼンテーションする機会が与えられます。



新協建設工業が「施工管理職」育成で参加 正社員雇用・カレッジ学費等会社負担 東京建築カレッジ無料職業紹介所 32社に

東京建築カレッジの2年間の教育を新入社員教育に導入する会社が増えています。このほど、新協建設工業(台東区、越田光夫社長)がカレッジ無料職業紹介所登録事業所となり、パートナーは32社になりました。

同社は「①国民の住まいづくりに奉仕する、②中小建設業者の協力共同で経営を発展させる、③建設にたずさわる人々の生活向上



「JR御徒町駅が最寄り駅。新協建設工業の本社ビルをめぐす」の三目標に掲げ、中小企業運動にも熱心に取り組んでいます。

カレッジ職業紹介所登録の動機は、施工管理職の採用・育成です。蔵前工業高校など工業高校への求人活動で自社を強力にアピールしていきたいそうです。

カレッジ教育に賛同する設計事務所で働けます 設計職で受け入れ拡大

東京建築カレッジには、「将来、設計職で活躍したい」と考えている人もやってきます。しかし、大工や施工管理職など現場系職種に比べて、無料職業紹介所の登録事業所は少ないため、OJT(現場実習)受け入れ事業所の紹介が十分にできず、応募・入学辞退になることが少なくありませんでした。そこで、カレッジでは設計職志望者のOJTを受け入れてくださる設計事務所を募集することにしました。

木造建築の基本について大工実技を含めて学ぶカレッジ教育は、次代の建築業界を担う設計職の育成上も重要です。職種の性格上、「正社員雇用」「学費全額会社負担」というわけにはいきませんが、象地域設計(葛飾区)など複数の設計事務所が協力を表明しています。

新人の採用と育成、定着・・・

東京建築カレッジを利用しませんか

中小工務店の皆様、相談に乗ります。お気軽に連絡を!

電話03-5950-1771 東京土建技術研修センター内 東京建築カレッジ

東京建築カレッジ OPEN CAMPUS 2022

6月19日(日)・8月7日(日)
10月16日(日)

午前の部: 午前9時半~正午
午後の部: 午後1時~午後3時半

会場は、東京建築カレッジ江東実習場
☆東京建築カレッジに入れる就職先紹介、
職種選びのポイントも解説します。



参加方法: 電話・FAXまたはメールで下記をご連絡ください。
①お名前 ②属性: 高校生、大学生、専門学校生、その他
③ご連絡先(携帯電話番号、メールアドレスなど) ④参加希望日(午前の部・午後の部) お問い合わせ・ご相談は、
東京建築カレッジ事務局・広報まで
TEL 03・5950・1771
FAX 03・5950・1774

